



法政大学 グローバル教育センター事務部

〒102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1
TEL: 03-3264-4088 E-mail: globaledu@hosei.ac.jp
<http://www.global.hosei.ac.jp/>

2018年3月発行

Go Global Hosei 2018



課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想する グローバル大学をめざして！

2018年度は、本学が文部科学省の「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されて、5年目を迎えます。

2023年度が最終年度にあたりますので、同事業のちょうど「折り返し」地点に達したことになります。

事業構想どおりに実行するには解決すべき課題はありますが、本学の「グローバル化」は着実に進捗しています。

引き続き“法政大学ならでは”的取り組みを一歩一歩進めていきます。



Hosei University Charter

Practical Wisdom for Freedom

Hosei University was founded by a group of ambitious young men at the beginning of the modern era in Japan for ordinary citizens who had become aware of human rights and sought a knowledge of the law.

As the school song says, Hosei University is a place where “good teachers and good friends gather.” The university has always fostered a “free academic atmosphere” in which the rights of others are respected and diversity is accepted and a “pioneering spirit” which is not bound by convention and aims at building a fair society.

Carrying on the legacy of the university’s founders, our mission is to pass on this free academic atmosphere and pioneering spirit to the next generation and contribute to solving the problems of the world.

In order to fulfill this mission, the university strives to support farsighted research from a variety of points of view and educate students to become independent citizens who carry out their work for the society and the people based on well-grounded principles and unrestricted thinking.

Hosei University promotes sound critical thinking based on sympathy for all people, both locally and internationally, and the creation of ideas for solving social problems based on practical wisdom. In cooperation with its many graduates, who have the ability to live anywhere in the world, Hosei University will contribute to the future of sustainable societies.

「法政大学憲章」(英語版)

法政大学 総長
田中 優子



自由を生き抜く実践知

法政大学は、2030年に創立150周年を迎えます。2013年、私が総長に立候補するにあたって、創立150年という大きな節目をめざす“HOSEI 2030”を構想し、賛同を得ました。2014年の就任後すぐにタスクフォースを設置し、検討を重ね、2030年の本学の姿を展望したプロジェクト“HOSEI 2030”

を策定いたしました。またその過程で、「ダイバーシティ宣言」を行い、「法政大学憲章」を制定しました。「法政大学憲章」は「自由を生き抜く実践知」をその約束として掲げています。それが生きる現実の中で、自由を生き抜くことを理想とし、それを実現するために課題解決を続ける知性のことです。“HOSEI 2030”的根幹をなすとともに、本学のスーパーグローバル大学構想にも繋がる重要な理念です。今後も、これらの憲章、ミッション、ビジョン、そして宣言に基づき、スーパーグローバル大学構想を含む“HOSEI 2030”を実行していきます。法政大学の新しい展開に注目し続けてください。

INDEX

卷頭	01~02
法政大学のグローバル化へのビジョン	03~04
グローバル人材育成のイメージ	05~06
語学教育プログラム	07~08
外国人留学生の受け入れ	09~10
国際交流プログラム	11~12
派遣・認定海外留学制度	13~14
特徴的な海外留学・インターンシッププログラム	15~16
海外交流協定大学	17~18
グローバル化に対応した仕組みづくり	19~20
グローバル化の歩み	21~22

法政大学のグローバル化へのビジョン

持続可能で平和な地球社会の構築に貢献する大学へ。法政大学は、社会のさまざまな課題を解決する研究と教育を柱とし、自由な思考と自立した行動力を備えた地球市民の育成をめざして、グローバル化を推進しています。



数値目標 2023年の法政大学

グローバル化対応・体制の構築

- 総長のリーダーシップ
- 長期ビジョン「HOSEI 2030」の策定
- ICT基盤とIR機能の強化充実

受入れ留学生	海外留学（単位取得）	海外協定校	連携高校（国内・海外）	グローバルアクティビティ 体験率
3,000人	1,500人	250校	110校	100%

日本の知見を世界へ
人間力豊かなグローバルリーダーを育成

課題解決先進国日本から サステイナブル社会を構想するグローバル大学へ

世界各国のポスト工業国化
地球規模の環境問題
少子高齢化
世代間の格差・雇用問題 etc.

産業構造の転換
エネルギー・公害問題への挑戦
健康・医療、予防福祉の発展
社会システムの革新による雇用創出

世界は持続可能な社会モデルを模索しており、先行モデルとしてのわが国の
課題解決研究は世界から注目されています。法政大学は「サステイナブル社会」研究に
資源を集中させ、TOP GLOBAL UNIVERSITYをめざします。

法政大学の取り組み

1 「世界のどこでも生き抜く力」を
備えたフロントランナーを育成
する教育プログラム

2 「サステイナブル社会」を構築
する人材の集積とグローバル化
社会への発信力の強化

3 サステイナブルな
グローバル社会の基礎づくり
に向けた中等教育支援

4 サステイナブルな
グローバル社会の構築を担う
社会人の学びなおし

5 グローバル社会の変化に
迅速に対応し意思決定ができる
体制の構築

大学理念

「自由と進歩」の精神で
なにごとも絶えず挑戦し、
新しい伝統を創造し続ける

自立的で人間力豊かな
リーダー育成、最先端を行く
高度な研究を推進する

教育・研究の成果を社会に還元、
持続可能な地球社会の
構築に貢献する

英語による学位取得	外国人等教員 外国での教員研究歴のある 日本人を含む	外国語による授業	CEFR B1取得 TOEFL ITP® 500点相当	社会人の 学びなおしプログラム
7コース	60%	10%	48.1%	1,200人

グローバル人材育成のイメージ

本学がこれまで培ってきた「自由と進歩」の精神に基づき、既成概念にとらわれない自由な発想で考え、新しい問題に積極的にチャレンジする自立型人材、持続可能な地球社会の構築に貢献できる国際的な人材の育成をめざします。実践的な語学教育、学内外での国際交流、海外留学など、多彩なプログラムを用意しています。

英語力を伸ばす

ERP (英語強化プログラム)などを受講

市ヶ谷、多摩、小金井の全てのキャンパスで、ネイティブスピーカー講師による「ERP (英語強化プログラム)」と「EVERYDAY! 英会話講座」を実施しています。授業の空き時間を利用して、英語のスキルアップを図ることができます。



英語で学ぶ

グローバル・オープン科目などを履修

全ての授業を英語で行っているGIS (グローバル教養学部)の公開科目、多彩な科目が開講されているグローバル・オープン科目、ESOP (交換留学生受け入れプログラム)の科目に参加することで、学内にいながらにして、英語のみの環境の中で多岐にわたる分野を学ぶことができます。



Voice

派遣留学、青年海外協力隊、大学院留学等を経て、現在国際機関で働いています。留学はもちろん大きな経験でしたが、その基礎ができたのはGIS公開授業、ESOPや英文学科のゼミ等、法政大学での授業だと考えています。これらの授業で英語力が向上したのはもちろんですが、学術や文化、社会に関する幅広い知識・議論の仕方を英語で直接学べたことで、後の留学・仕事に繋がる土台ができました。例えばGIS公開授業で学んだ社会科学分野の基礎など幅広い知識は、その後の派遣留学や大学院留学、ひいては現在の仕事にも絶対必要なものでしたし、ESOPの授業を通して学んだ日本に関する客観的な知識・視点は、さまざまな国籍の人と関係を築くのに役立っています。



堀井 健士さん

2007年度 UCデイヴィス派遣留学
2008年度 文学部英文学科卒業
2010年~2012年 青年海外協力隊（ベナン）
2012年~2013年 ロンドン大学教育研究所修士課程
2013年~2014年 在ハイチ日本大使館
2015年~2017年 草の根・人間の安全保障無償資金協力 外部委嘱員
2017年5月~ 在ベナン日本大使館 専門調査員
国連児童基金(UNICEF)ブルキナファソ事務所
教育担当官(JPO)



※あくまでも一例であり、所属学部や学習到達度により履修内容は変わります。

国際的な経験を積む

国際ボランティア・インターンシップに参加

国際ボランティア・インターンシップに参加することで、身に付けた英語力を活かして、留学とは異なるグローバルな交流・ビジネス体験を積むことができます。世界各地から集う同世代の友との出会いも魅力です。



Gラウンジを活用

外国語コミュニケーションスペース「Gラウンジ (Global Lounge)」を活用すれば、日常的にネイティブスピーカーとの会話を楽しむことができます。英語学習アドバイザーや留学生とのコミュニケーション経験により、英会話のスキルとグローバルな視野が身に付きます。



留学制度を活用する

派遣留学などに参加

留学などの海外プログラムには、1年間または半期の派遣留学・認定海外留学、学部独自の留学プログラム・海外研修プログラム、全学部対象の短期語学研修があります。グローバル人材育成のためのプログラムを経験した多くの学生が、自身の目的やレベルに合った留学制度を利用しています。



国際的な舞台で活躍する

国際キャリア支援セミナーに参加

国際的な舞台で活躍する方を招き、将来、国際的な企業や機関で働きたいと考えている学生を対象に、さまざまなセミナーを実施しています。国際的な舞台で必要とされるスキルや経験を学ぶことが、将来のキャリアへの大きなステップとなります。



語学教育プログラム

法政大学では、さまざまなレベルに応じて、日常的に語学力の向上に取り組める機会を提供しています。気軽にネイティブスピーカーから英語を学べるラウンジ、語学スキルを養成するプログラム、英語で専門分野を学ぶ科目などがあり、1年次から4年次にかけて徐々にステップアップしていくことができます。



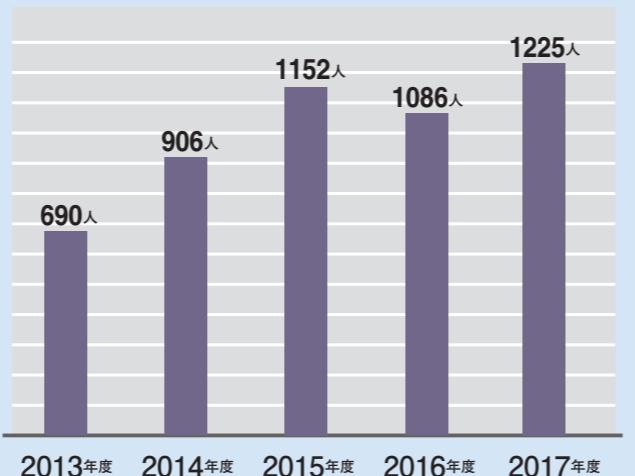
ERP (英語強化プログラム)

English Reinforcement Program

ネイティブスピーカーを中心とした講師による英語スキルの養成およびその技能統合を目的としたプログラムです。一定レベルの英語力があり、英語学習の意欲が高い全ての学部・研究科の学生を対象に開講しています。



● のべ受講者数



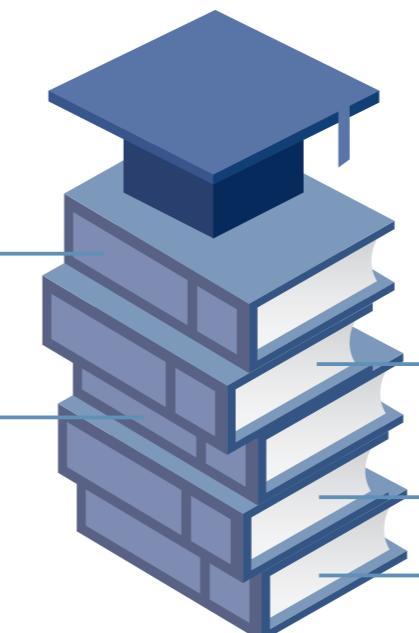
さらに詳しい情報は▶

<http://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

グローバル・オープン科目

全ての科目の教授言語を英語とし、全学で開講している学部横断型の公開科目です。グローバル・オープン科目を受講することで、所属学部の専門領域を超えた知識やグローバルな視点を身に付けることができます。

ERPなどによりTOEFL iBT® 76以上の英語力を身に付けた学生は、全ての授業が英語で行われるGIS (グローバル教養学部) の公開科目を履修できます。



Gラウンジ Global Lounge

キャンパス内にいながらにして、外国人留学生や英語学習アドバイザーなど、ネイティブスピーカーとの日常的なコミュニケーションの機会を持つことができ、実践的な語学力を身に付けられます。3キャンパスにあり、開室中はいつでも利用できます。



EVERYDAY! 英会話講座

毎日継続して英会話のレッスンを受けられる有料講座です。外国人講師が担当し、正課授業の空き時間に、楽しく受講できます。少人数グループのレッスンで、英語に慣れていない人でも安心してチャレンジできます。

英字新聞制作企画

英文ジャーナリズムの基礎を学びながら、法政大学の英字新聞を学生の視点で作成し、グローバルな視点や批判的思考を身に付けます。参加者の署名入りで発行された新聞は、THE HOSEI HERALDとして広く配布されます。



ESOP科目

本学協定校より派遣される世界各国の交換留学生と共に日本の文化や社会、政治、経済などのテーマを英語のゼミ形式で学びます。

▶詳しくは10ページ

TOEIC® IPの全学実施

自分の英語レベルを把握し、英語学習に役立てる機会として、TOEIC® IPを年1回3キャンパスで一斉に実施しています。実力の把握が、英語学習へのモチベーションや英語レベルの向上につながります。

GIS (グローバル教養学部) 語学検定試験受験料補助

GIS (グローバル教養学部) では英語の検定試験受験料を補助し、語学力の向上を支援しています。

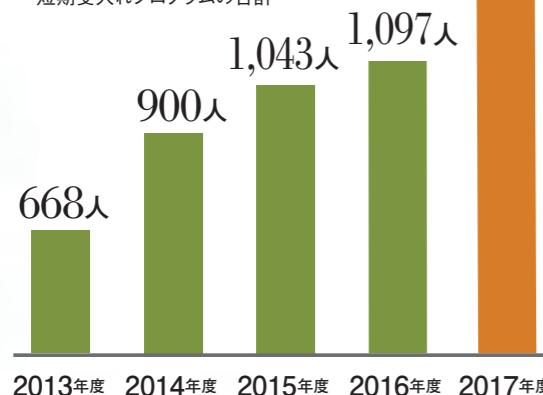
外国人留学生の受入れ

外国人留学生3,000人の受入れ実現を目指し、キャンパスのさらなるグローバル化をめざします。



● 外国人留学生受入れ実績

※学部生、大学院生、ESOP交換留学生、短期受入れプログラムの合計



外国人留学生(正規留学生受入れ)

大学・大学院合わせて774人の留学生が学位取得をめざして、日本人学生とともに勉学に励んでおり、グローバル教育センターを中心にさまざまな部局で留学生を支えています。

留学生を対象とする授業料減免制度や各種奨学金、留学生も入居できる学生寮を用意し、受入れ体制を整えています。また、日本での就職を考える留学生が昨今非常に多く、就職活動に役立つ日本語講座や企業説明会を積極的に実施し、就職支援を行っています。今後も多様な入試制度の導入、英語による学位コースの新設等により、さらなる留学生の受入れをめざしています。



ESOP(交換留学生受入れプログラム)

海外の協定校から、半年から1年間の交換留学生を受け入れるため1997年より開設。日本の文化や社会、政治、経済等のテーマを中心とした科目を英語のゼミ形式で学びます。また、交換留学生だけでなく本学学生も受講可能で、多くの学部が単位を認定。国内にいながら留学生と共に学び、交流することで、グローバルな視点を身に付けることができます。2016年度は152名、2017年度は184名の留学生が本プログラムに参加しました。さらに、本学学生も多く受講し、交換留学生の積極的な授業態度に刺激を受けながら交流を深めることができました。本プログラムは留学前の準備として日本社会や文化を理解することもでき、また、留学で得た経験や知識のブラッシュアップにもつながっています。



日本語教育プログラム(JLP)

留学生を対象に、大学での学習や将来の仕事に必要な日本語の習得を支援します。さらに、総合大学ならではの幅広い学生との交流の機会を提供し、広い視野を持ち、グローバル社会に貢献できる人材を育てるこことを目的としています。学生の日本語力に合わせたレベル別授業を展開し、特に上級クラスの学生には、進学・キャリアに役立つ「プリッジングコース」を充実させています。



短期日本語・文化プログラム

海外協定大学の学生を対象に、夏と冬に約2週間の日本語と日本文化を学ぶプログラムを実施しています。日本語だけではなく、日本文化・社会などを学ぶため、浴衣を着ての日本橋散策、国内外で店舗を展開する飲食店グループでの調理体験、富士山麓へのフィールドトリップ等を行います。このプログラムには、約100名の法政大学の学生がボランティアとして参加し、留学生とペディを組み、授業や課外活動のサポートや、空港への出迎えや生活面のサポートなどを行います。授業やさまざまなイベントを通じて交流を図るだけでなく、お互いの文化を比較する中で自国の文化を見つめなおし、異文化を理解する力を養います。



Voice

私が法政大学に入学した理由は3つあります。1つ目は長い歴史があり、知名度が高い法政大学では全国やさまざまな国からの学生が集まっており、多様な考え方を持つ仲間と出会えると思ったからです。2つ目は、法政大学の理念である自由と進歩が自分に合致したことです。大学に入って自由にさまざまなチャレンジをしたかった私にとっては、法政大学が相応しいと思いました。3つ目は法政大学に通う友達から大学の色々な情報を手に入れることができ、日本語学校の先生からも強く勧められたからです。大学では3年生のうちに卒業単位を取得することに挑戦し、新聞配達のパートをしながらも日々の努力で実現でき、成績優秀者に給付される法政大学HIF外国人留学生奨学金をもらうことができました。

卒業後はグローバルな企業に就職するので、さまざまな国で活躍したいと思っています。残りの学生生活は仲間を大事にし、自分に足りない能力を勉強し、社会人になるための準備をしっかりしたいと思います。



タマン プラカーシュさん
外国人留学生(ネパール)
経営学部 経営学科 4年生

国際交流プログラム

さまざまな国際交流の機会を提供し、
国際理解を深めています。



法政グローバルデイ

学生が主体となり、企画から運営までを行っているイベントです。国際的な舞台で活躍する実務者を招いてのさまざまな取り組みの紹介や、意見交換、問題提起などを通じて、国際協力・国際交流、グローバルビジネスへの興味喚起を目的として毎年開催しています。



2017年度実施内容
テーマ：一步踏み出す「きっかけの1日」
・社会人パネリストによるパネルディスカッション
・国際ボランティア・インターンシップの学生体験談・プログラム紹介
・グローバル・ポイント制度表彰
・企画・ワークショップ・相談ブース
・交流会

Language Buddy

留学生と日本人学生がペアとなり、授業の空き時間を利用して日本語と外国語をお互いに教え合います。また、語学学習の機会としてだけではなく、留学生の学生生活のサポートや、留学生との交流をすることでも、お互いの言語や文化の違いについての理解を深めることも目的としています。



Welcome Guide

来日して間もない留学生のために、日本人学生は空港、寮の出迎え、大学案内、口座開設などさまざまなボランティア活動を通じて彼らをサポートします。この活動を通じて、日本人学生は留学生の視点で日本を見直せるようになり、よりグローバルな視点を持てるようになります。また、留学生からも信頼を得るようになり、今後の友好な関係構築に役立っています。



スピーチコンテスト

日本語スピーチコンテスト
(国際交流サークル Hi-C Orange主催)

国際交流サークル Hi-C Orangeの主催によるスピーチコンテストでは、本学在籍の留学生が、日本人学生のサポートを受けながら、自由なテーマでスピーチします。今回は、韓国・中国・台湾・ウズベキスタン・アメリカの留学生が出場しました。



法政大学日本語スピーチコンテスト

(主催：法政大学 共催：VNU ハノイ外国语大学)

ハノイ市（ベトナム）において日本語スピーチコンテストを開催し、ベトナム全国の6高校・17大学からの応募者104名の中から、事前審査を通過した17名が、「日本語を学んで得たもの」をテーマにスピーチを行いました。



多摩国際交流フェア

多摩キャンパスで学ぶ留学生と日本人学生を中心に、外国人研究者や国際交流活動に携わる教職員も参加し、出身国・地域を問わず交流を深めるイベントです。各国の留学生による歌やダンス、母国の文化についての発表などさまざまな企画を実施しています。

2017年度実施内容
留学経験者による留学先紹介、留学中の学生とSkypeでの質疑応答、各留学生会によるダンス、歌のパフォーマンス等



JST (科学技術振興機構) 採択事業さくらサイエンスプラン (日本・アジア青少年交流事業)

産学官の連携により、アジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深めることを目的としています。小金井キャンパスでは、ベトナムから教員と学生を招き、理工系分野においてワークショップとプレゼンテーションを行いました。市ヶ谷キャンパスでは、台湾・ミャンマー・ベトナムから建築を学ぶ学生を招き、講義と実地学習を行いました。

HOSEI-SSP (HOSEI Short-term Scholarship Program for High School Students)

日本へ留学を強く希望しているアジアの高校生を本学へ招き、特別授業の受講や本学の学生との密接な交流を通じて本学の魅力を伝えます。2017年度は、ベトナム、インドネシア、カンボジアの3カ国から15名の高校生を招き、英語学位プログラムの特別授業や本学学生企画の文化体験活動を通じ、日本について学びました。

スーパー全球大学 創成支援事業シンポジウム

2017年3月に、ベトナムのカントー大学、曙ブレイキ工業（株）のご協力を得て、サステナブル社会を担う人材像と人材育成について意見交換を行いました。2017年12月には、ロンドン大学バークベック・カレッジから教員を招き、イギリスにおける大学界の経験をもとに、大学の持続可能な成長について講演とパネルディスカッションを行いました。

派遣・認定海外留学制度

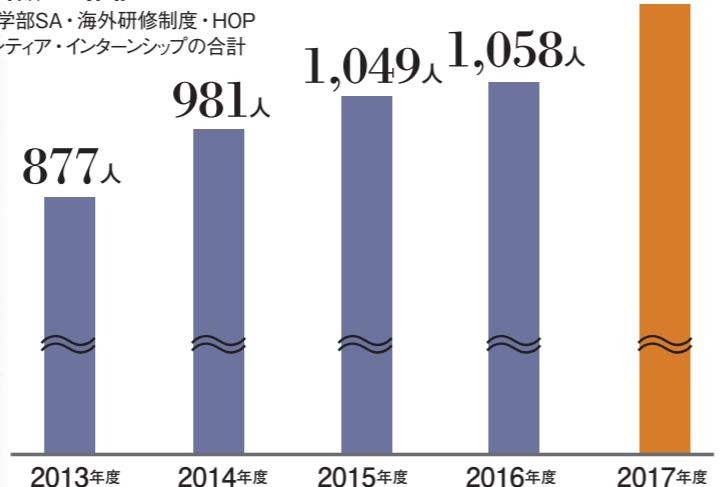
学生が海外に出て、語学力の向上だけでなく、異文化への理解を通じて広い視野を持てるよう、さまざまな海外プログラムを実施しています。毎年、多くの学生が短期から約1年間の留学を通じて、グローバル人材として求められる豊かな経験を積んでいます。



1,238人

●海外留学生数※の推移

※派遣留学・学部SA・海外研修制度・HOP
・海外ボランティア・インターンシップの合計



認定海外留学制度～希望する大学への私費留学～

希望する海外の大学から受け入れ許可を得て本学に申請をし、所属学部の審査を得て2~4年次の半期または約1年間私費留学する制度です。留学先大学で取得した単位は、帰国後に30~60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。法政大学と留学先の両方に学費を支払う必要がありますが、「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」(法政大学授業料半額相当)、「後援会認定海外留学奨学金」(10万円)、「グローバルキャリア支援基金による海外留学支援奨励金」(25~50万円)等の返還不要の奨学金制度があります。また、本学協定校のボイシー州立大学やミネソタ州立大学マングート校(アメリカ)での認定海外留学制度による私費留学制度も実施しています。



※「開かれた法政21・認定海外留学奨学金」は、2019年度より所属学部にかかわらず一律30万円の支給に変更予定。

※上記奨学金は半期留学の場合、半額支給。

【過去10年の認定海外留学生の留学先国・地域】

アメリカ	イギリス	カナダ
中国	フィリピン	タイ
デンマーク	台湾	

派遣留学制度～協定校への交換留学～

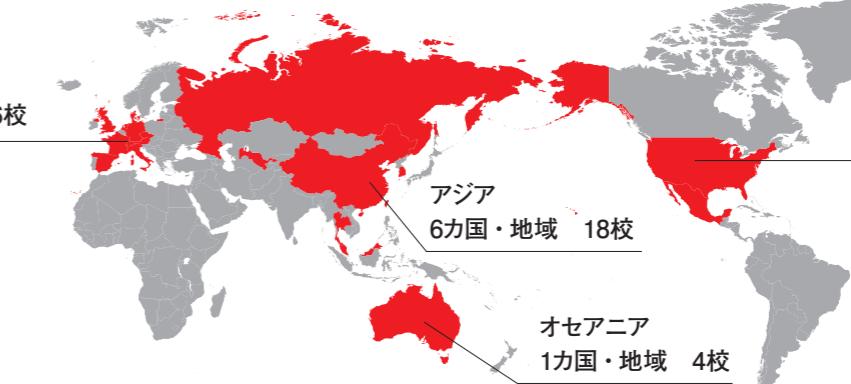
全学部対象の留学制度で、3・4年次に世界各国の協定校に半期または約1年間留学する制度です。学内選考試験に合格した派遣留学生全員に返還不要の奨学金が支給されるほか、法政大学の学費を通常通り納入することで、派遣先大学の授業料は全額免除されます。派遣先大学では主に学部の授業を履修し、取得した単位は帰国後に30~60単位を限度に法政大学の卒業所要単位として認定されます。

●派遣留学奨学金(半期留学の場合は半額支給)

アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、オーストリア、スイス、チェコ、オランダ、フランス、デンマーク、イタリア、ロシア、スペイン、韓国の協定校に留学する場合

100
合格者全員
万円

ヨーロッパ
11カ国・地域 26校



中国、台湾、タイ、マレーシア、
ウズベキスタン、メキシコの
協定校に留学する場合

70
合格者全員
万円

派遣留学先大学

20
61
大学・機関
※2018年2月末現在

Voice

大学2年次にアメリカで日本の魅力をプレゼンテーションする機会があり、そこでの経験から、将来は日本の文化や製品を海外へ発信できる仕事に携わりたいと考えるようになりました。夢を実現するため、海外の大学で専門的な知識や語学、多文化理解を学び深めることが必要だと感じ、派遣留学に応募しました。留学先のヴェネツィア大学では、Intercultural Communication、EU、移民について学び、課外活動では、日本語クラスのTA(教育補助)を経験しました。イタリアの生活は楽しいことも沢山ありました。しかし、一筋縄ではいかないことも多く、話し合いを重ねるうちに交渉力を身につけることができました。卒業後は、日本の自動車メーカーに就職します。留学での経験を活かし、将来は海外の企業との取引や交渉に挑戦しながら国際ビジネスの第一線で活躍する人になりたいです。



水谷 早良さん (写真左から3番目)

2016年度ヴェネツィア大学(イタリア)派遣留学生
法学部 政治学科 4年生

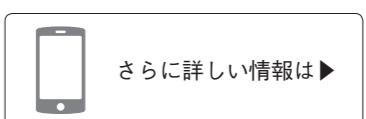
Voice

私は形而上学を深く学びたいと思い派遣留学ではシドニー大学を選びました。授業では学生たちが「なぜ」や本質を問い合わせたいという意欲が強く、その姿に刺激を受けました。それにより、留学中は私も自分の本質についても問うようになり、次第にその探求の面白さの虜になりました。そして派遣留学修了後、そのような自分の内面性について研究が古くから行われているフランス・イタリア両国でもっと幅広く学んでみたいと思い、それが一度にできるエラスムス・ムンドゥス留学(欧州の大学院への留学プログラム)を見つけ、応募しました。現在私が学んでいる修士課程では問題を解くというよりは発見する力が求められ、その土台となったのはこのシドニー留学が大きかったと思います。



樋口 翔一さん (写真右から2番目)

2015年度シドニー大学(オーストラリア)派遣留学生
所属: 上アルザス大学(フランス)ヨーロッパ文学文化専攻
(2016年度文学部哲学科卒業生)



http://www.global.hosei.ac.jp/programs/study_abroad/

特徴的な海外留学・ インターンシッププログラム

法政大学では派遣留学制度や認定海外留学制度のほかにも、
さまざまなプログラムがあります。

自分自身の目的やレベルにあった留学制度を利用し、
グローバルに活躍できる人材としてのステップアップを図ることができます。



トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム

文部科学省および支援企業から返済不要の奨学金（月額6~16万円）や留学準備金（15~25万円）などのサポートを受けて、インターンシップやボランティアなどの実践活動を含む自分自身の留学計画を実行するプログラムです。法政大学もこのプログラムに応募・参加する学生のサポートを行っています。



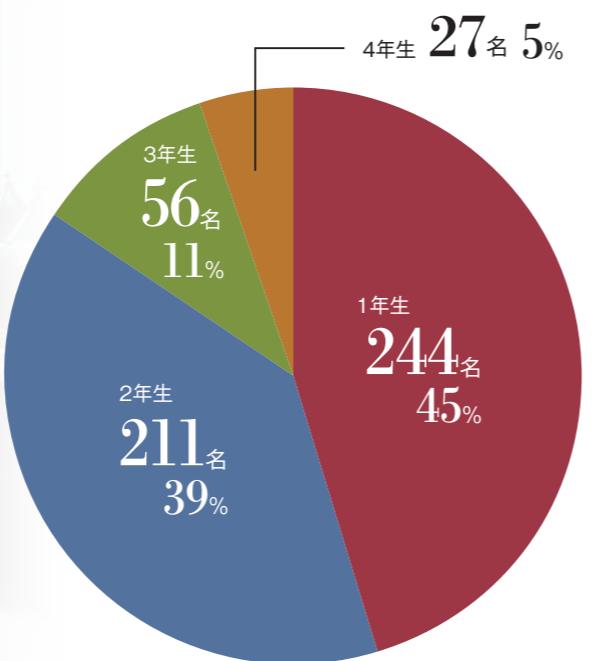
新興国コース（アルゼンチン）

世界トップレベル大学等コース（ルワンダ共和国）

短期語学研修制度

夏休みと春休みに、語学力向上のため、マレーシア・アメリカ・カナダ（英語）、中国・台湾（中国語）、韓国（朝鮮語）、オーストリア（ドイツ語）、フランス（フランス語）の各協定大学で2~4週間程度実施する留学制度です。全学部の学生対象で、語学レベルや成績に関係なく応募が可能です。留学先では個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っているため、初級者から上級者までを対象としており、初めて海外に行く方や将来長期留学を考えている方にも推奨しています。また、課外活動や文化体験を通じて留学先の社会や文化に触れることができるのも魅力です。学部によっては単位認定も可能です。

●過去3年間の学年別参加者数
※夏季・春季の合計



学部独自の留学・海外研修制度

文学部英文学科、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、キャリアデザイン学部、GIS（グローバル教養学部）、経済学部、社会学部、理工学部、生命科学部において、学部独自のスタディ・アプロード（SA）・プログラムがカリキュラムに組み込まれています。

また、学部のカリキュラムに合わせたさまざまな海外研修も行っています。法学部国際政治学科のオックスフォード大学などで短期研修を行うHosei Oxford Programme (HOP) や、文学部哲学科のフランスとドイツの大学で合同ゼミを行う国際哲学特講、国際文化学部では東・東南アジアでの海外フィールドスクールを行っています。このほかにも、人間環境学部では海外での環境問題の見聞を広めることを目的とした海外フィールドスタディ、現代福祉学部では、デンマークなどの福祉先進国で行う海外研修制度、スポーツ健康学の知識を深めるスポーツ健康学部の海外課外研修、デザイン工学部システムデザイン学科のフィリピンで英語を学びながらシステムデザインについて学ぶことのできる海外派遣プログラムがあります。

国際ボランティア・ インターンシッププログラム

さまざまな体験を通して、これまでとは違った観点から世界を見ることにより、グローバル人材に求められる能力や資質を身に付けるプログラムです。国際社会に貢献する活動をさまざまな国・地域からの参加者とともに「国際ボランティア」と、派遣先の企業やNGOなどで就業体験を行う「国際インターンシップ」の2種類があり、文化や言語、働き方の違いを学ぶことで、海外へチャレンジする学生を育てます。夏季（8~9月）および春季（2~3月）に実施し、2017年度は主に東南アジアにて、農村開発、難民支援のボランティア活動、また本学協定校の協力のもと、現地企業での実務研修などを行いました。



Voice

高校時代から国際協力に興味があり、自分の目でその実態を確かめたいと思い、国際インターンシップへの参加を決意しました。現地ではNGOの実際の活動や苦労、その背景などについてインタビュー調査を行いました。調査を通じ、国際協力には複雑な問題が多くあり、その背景には価値観や文化の違いがあることを知りました。だからこそ良好な信頼関係を築くことが非常に重要であり、そのためコミュニケーションを頻繁にとることが重要であることを学びました。私は将来、エアラインパイロットをめざしています。異文化理解のできる、信頼関係やコミュニケーションを大事にするパイロットになり、人と人、人とのつなげる懸け橋として国際協力をしたいと考えています。



森下 裕貴さん

2017年度夏季国際インターンシップ（GLMI フィリピン）研修生
理工学部 機械工学科 航空操縦学専修 2年生

海外交流協定大学

派遣留学

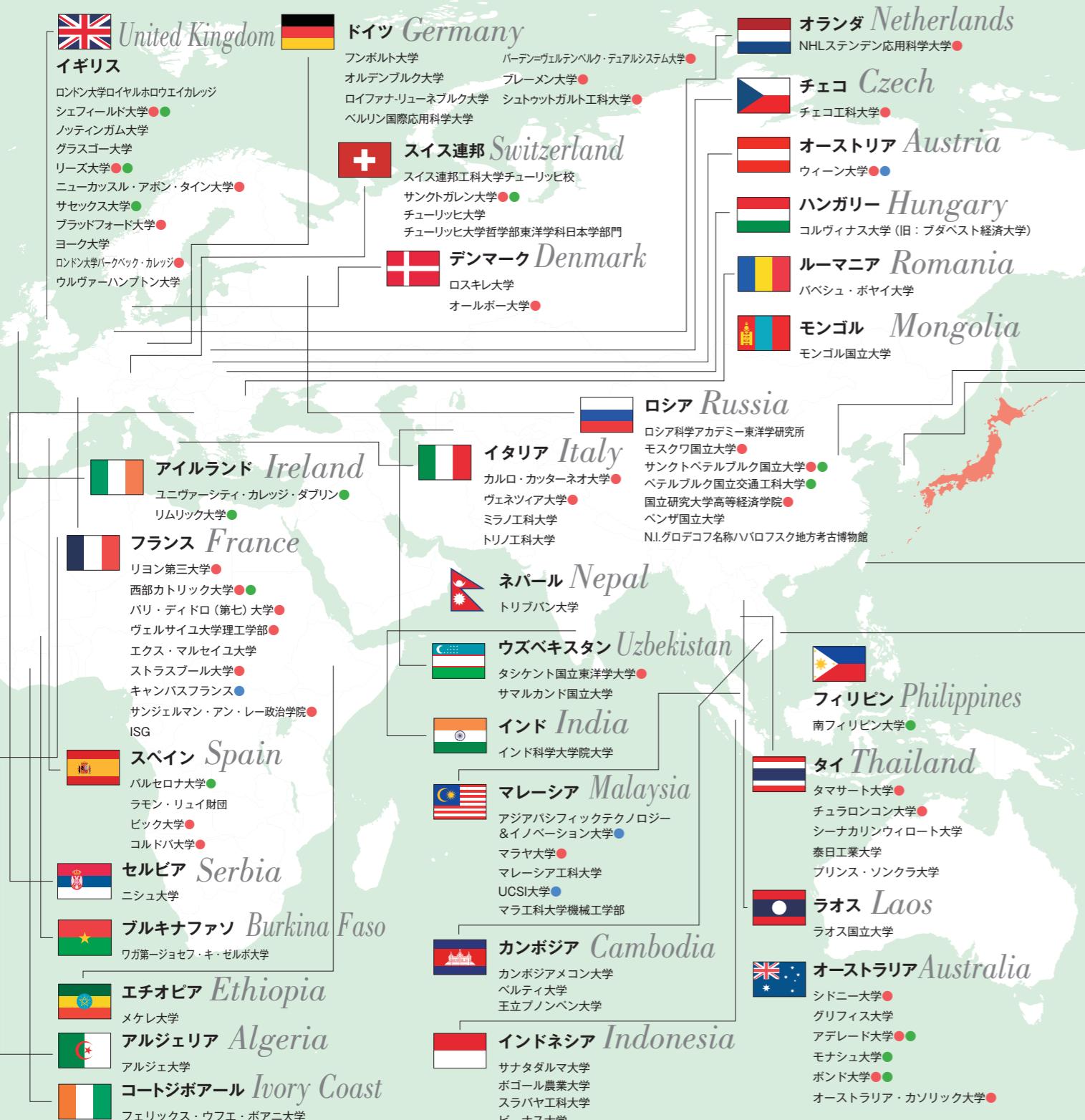
短期語学研修

SA*

*学部により行き先が異なります。

現在、法政大学では世界39カ国・地域において、235大学・機関（2018年2月末現在）との間で

学術一般協定、学生交換協定などを締結しています。法政大学と世界を結ぶグローバルネットワークは今後もさらに広がっていきます。



海外交流協定大学
235 大学・機関
39カ国・地域

*2018年2月末現在



グローバル化に対応した仕組みづくり

大学に求められるグローバル化への対応は、ますます多様化しています。

多様な人材を受け入れ、世界のどこでも活躍できる人材を育成する教育環境として、

英語だけで学位を取得できるプログラムを提供しています。

また、国内外の機関と協力できるよう、大学の体制構築と仕組みづくりを推進しています。

英語学位プログラム



GIS (グローバル教養学部)

Faculty of Global and Interdisciplinary Studies

少人数教育環境のもと、新しい時代のリバーラル・アーツ教育を提供する学部です。地球規模で刻々と変化する社会事象に対応できる、自立的で人間力豊かな人材の育成を目指します。



GBP (経営学部)

Global Business Program

「アジアの世紀」と言われる21世紀のグローバルなビジネス社会で活躍し、牽引できる人材を育成するため、英語で行う授業とともに日本企業のグローバルビジネスを実体験できる科目群を設置しています。



SCOPE (人間環境学部)

Sustainability Co-creation Programme

「持続可能な社会」とはどのようなものか、どのようにそこにたどりつくのか、という、あらかじめ定められた答えのない問いに取り組むために必要な力を涵養することを目的とします。



IGESS (グローバル経済学・社会科学インスティテュート)

Institute for Global Economics and Social Sciences

経済学の専門知識を応用し、課題解決に取り組み、サステナブルな社会を構築できるような能力の涵養を目指します。多摩キャンパスに開設し、経済学士を授与するプログラムとなります。



IIIST (総合理工学インスティテュート)

Institute of Integrated Science and Technology

大学院理工学研究科と情報科学研究科の連携により、サステナブルなグローバル社会を支える総合理工学を英語で学ぶ横断型大学院プログラムを設置しています。



Global MBA (経営大学院イノベーション・マネジメント研究科)

Global MBA Program

実務経験3年以上の方を対象に、英語で日本のビジネス慣習、日本企業、日本の経営スタイルを学び、平日夜間と土曜の通学1.5年で修了できるMBAプログラムを提供しています。

グローバル化に対応した入試制度

語学力や留学経験等が活かせる入試の実施

● 英語外部試験利用入試（一般入試）

TOEFL®などの英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした入試制度。15学部中9学部で実施。

● 英語外部試験利用自己推薦特別入試

経済学部で実施している、英語外部試験で指定された基準を満たした受験生を対象にした自己推薦特別入試。

● 外国人留学生入試

外国人留学生を対象に、書類選考と面接試験を実施する入試、渡日前でも受験できる書類選考のみによる入試、日本語学校・海外高校を対象とした指定校推薦入試を実施。

● グローバル体験公募推薦入試

海外高校への留学経験者を対象にした校長推薦による入試制度。

● 国際バカロレア利用自己推薦入試

国際バカロレア資格取得者を対象とした入試制度。

グローバル・ポイント制度

プログラム参加経験の数値化

留学や語学研修など大学が指定するプログラムへの参加についてポイントを付与します。一定のポイントを獲得した学生には、本学スーパーグローバル大学創成支援事業のロールモデルとして表彰します。

2018年度からの新しい授業時間割と学年暦

多彩な授業・留学等を可能にする教学改革

教学改革の一環として、単位制度に沿った授業時間数の確保とグローバル化に対応した柔軟な授業設計ができるように、2018年度から1セメスター100分×14回の授業時間割と柔軟な授業展開を可能とする新学年暦を導入します。

教職員の国際通用性の向上

教員の授業運用力・職員の語学力強化

授業を英語で行う教員向けに、ネイティブスピーカーによるサポートの実施、職員向けには、国際業務に対応できるよう英語講座や海外研修を実施しています。

LinkedInによる情報発信と卒業生との連携

SNSによるグローバルなネットワーク展開

LinkedInは、世界最大級のビジネス特化型SNSです。法政大学では、カレッジページを開設して、大学の情報発信をしているとともに、国内外の卒業生および在学生とのネットワークを展開しています。

授業科目のナンパリング

授業レベル表示の国際通用性の向上

授業科目に適切な番号を付し分類することで、配当年次や学習段階などを考慮して履修科目を選択できるよう、体系的な教育プログラムの明示をしています。また、ナンパリングには、海外大学との授業レベルが比較可能となるメリットがあります。

海外事務所の開設

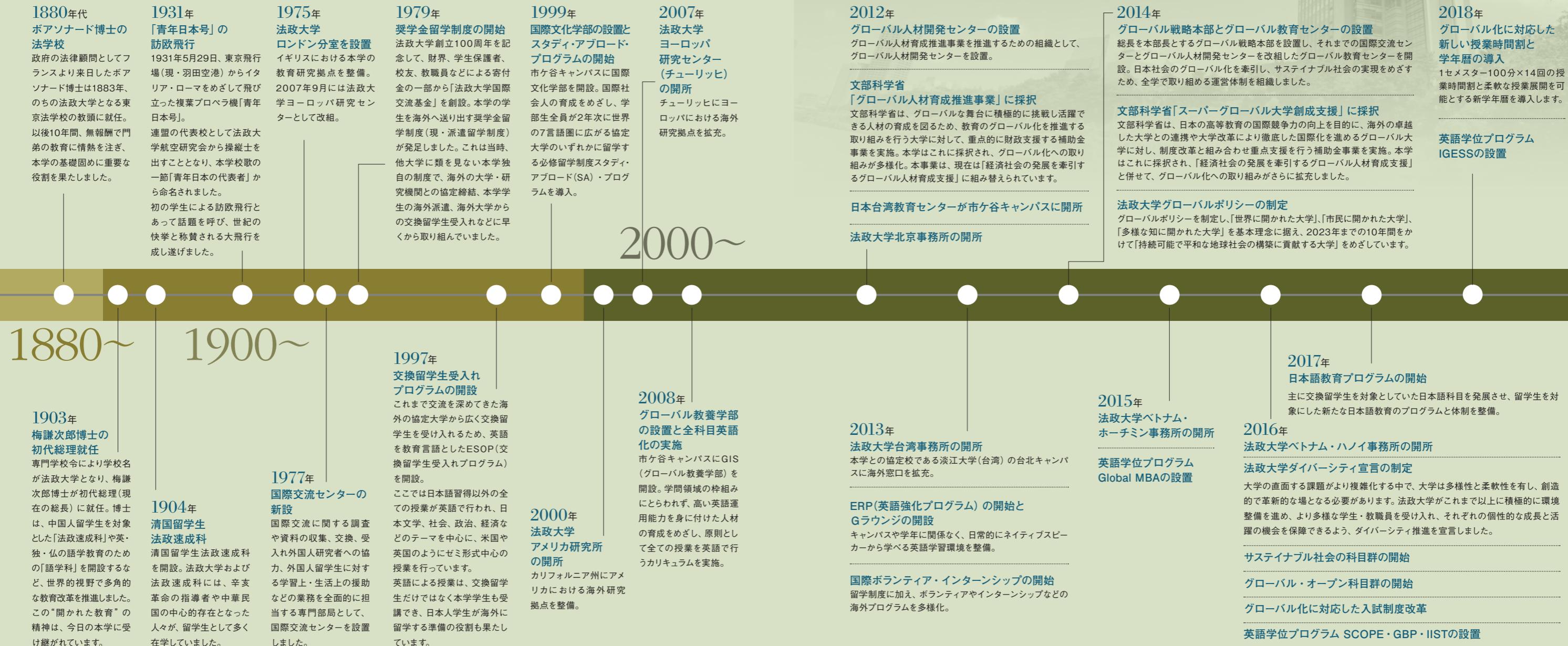
学生交流・学術交流の促進

留学生受け入れの増加、学術交流の促進、卒業生との連携強化等の効果を図ることを目的とし、中国、台湾、ベトナムに海外事務所を展開しています。



グローバル化の歩み

法政大学は、これまで130年を超える歴史において、自由の尊重、進取の気象という伝統を育み、「自由と進歩」という校風を形成してきました。その精神を受け継ぎながら、学生交流や学術交流に積極的に取り組み、グローバル化を推進してきました。法政大学は、これからも新たな改革に挑み、地球社会のさまざまな課題解決に寄与する大学を実現していきます。



ボアソナード博士



梅謙次郎博士



ESOP (交換留学生受入れプログラム)



国際文化学部 スタディ・アブロード (SA)・プログラム



GIS (グローバル教養学部)



2017年度秋期入学式